

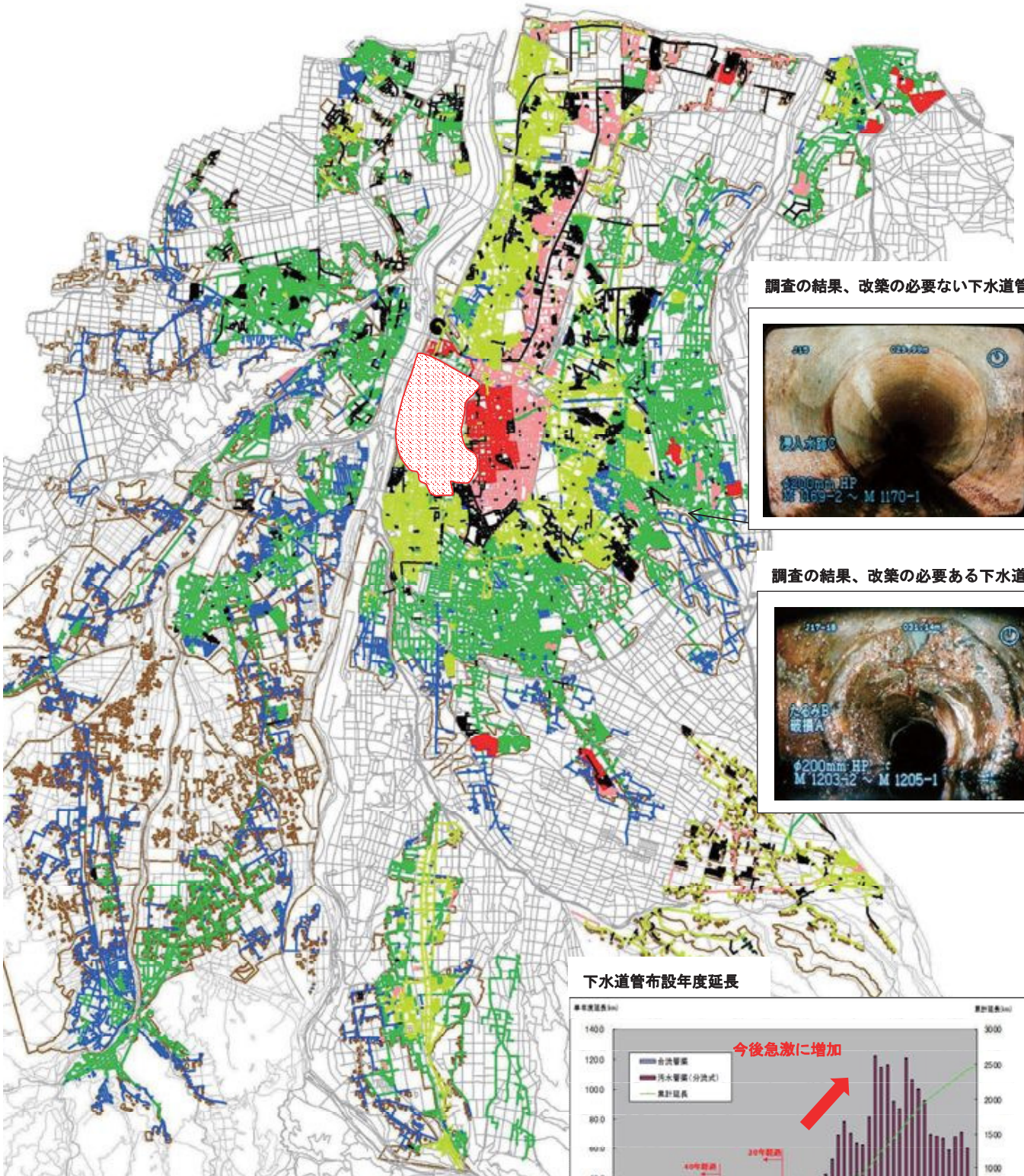
16 老朽下水道管対策事業の推進について

本市の下水道は昭和27年から整備を進めており、今後、急激に老朽下水道管が増加する傾向にあることから、老朽下水道管に起因する事故を未然に防止するために、計画的で効率的な改築を進めていく必要があります。

つきましては、今後、急激に増加する老朽下水道管の改築には多額の経費と期間を要することから、**老朽下水道管の対策事業が計画的、かつ、継続的に進められるよう事業費の確保**について格段の配慮をお願いします。

1. 事業年度	平成22年度から平成31年度 (うち工事期間 平成24年度から平成31年度)		
2. 総事業費	約 9,750百万円		
3. 事業概要	調査・点検	約250km	
		(30年を経過した分流式下水道管)	
	改築工事	約62.5km	
		(調査の結果、劣化の著しい下水道管)	
4. 平成28年度事業費			
	調査・点検等	約50km	200百万円
	改築工事	約9km	1,233百万円
		計	1,433百万円
	国庫支出金		716百万円
	企業債		554百万円
	自主財源		163百万円

老朽下水道管対策事業位置図



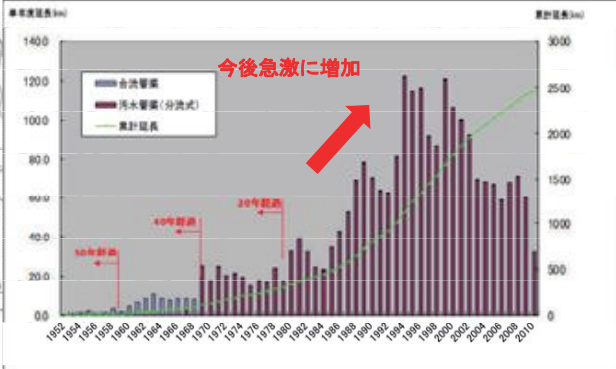
調査の結果、改築の必要ない下水道管



調査の結果、改築の必要ある下水道



下水道管布設年度延長



凡例	
	～41年経過
	40年～31年経過
	30年～21年経過
	20年～11年経過
	10年～1年経過
	合流式下水道区域

老朽下水道管の
調査・点検・改築

H22 基準年		単位 km					
項目	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
下水道管 (分設式)	0.0	63.9	207.2	291.1	464.0	905.5	687.2
下水道管 (合流式)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計延長	0.0	63.9	207.2	291.1	464.0	905.5	687.2